

「街なかの土間企画応援」スタート (支援:よこはま夢ファンド)



ムラ 街なかの土間企画応援



街なかでスローな暮らしを
プラスする、あなたの企画
@「はまどま」を応援します。

随時 | はまどま (横浜市南区)



街なかに住んでいても、里山を味わい、楽しみ、考える暮らしに触れられる講座や企画の実施をお手伝いする事業を始めました。5月にウェブページを開設し、はまどまで開催する新しい企画の提案・実施を呼びかけています。

間伐材を活かすグリーンウッドワーク

(支援: 国土緑化推進機構「緑の募金」、寄付元: ENEOS (株))



グリーンウッドワークとは、乾燥していない生木を手道具で割ったり削ったりして暮らしの道具をつくる木工です。かつての里山が人の営みに必要な木工品の材料として活用されていたように、保全活動で発生した間伐材を活用する木工ワークショップを月に一度開催しています。今年はワークショップ参加経験者による自主活動も開始しました。

受託事業

- 横浜市「森づくりボランティア体験事業」
- 横浜市「道具の使い方研修・森づくり安全管理研修・入門講座企画実施」
- 横浜市「保育所・小中学校等ピオトープ整備のアドバイザー派遣」
- 横浜市「寺家ふるさと村里地山入門講座企画実施」
- (公財)横浜市緑の協会「長浜公園並びに富岡総合公園トンボ池他管理等業務」
- (公財)横浜市緑の協会「野島公園ピオトープ環境改善」
- (公財)横浜市緑の協会「根岸森林公園トンボとり大作戦開催業務」
- 横浜植木(株)「トンボとり大作戦開催業務」
- (株)NTTドコモ、神奈川県スバル(株)企業研修の企画運営・協力



ウェブサイト & ソーシャルメディア

Instagram のフォロワーは着実に増えています。YouTube は少しずつ動画コンテンツを増やしています。Facebook のフォロワーはもうすぐ 2,000。X はたまに呟いています。



Instagram



YouTube



Facebook



X

里山と暮らしをつなぐメルマガジン

毎月 1 日にメルマガを配信し続け、2025 年 1 月には記念すべき 200 号を発行します。コラムのバラバラな感じが特徴のひとつです。過去のコラムはすべて HP でお読みいただけます。



メルマガ登録

委員・講演実績

委員

- ・横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会専門委員
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会委員
- ・神奈川県里山里山保全協議会構成員

講演等

- ・神奈川県 × 横浜国大「里山関係人口フォーラム」パネリスト
- ・新時代アジアピースアカデミー「環境運動のパブリックヒストリー」講師
- ・まちだ市民大学 HATS「身近な自然はなぜ大事なのか？」講師
- ・横浜市環境教育出前講座



里山とかかわる暮らしを

特定非営利活動法人

よこはま里山研究所 NORA

URL <https://nora-yokohama.org>

e-mail info@nora-yokohama.org



特定非営利活動法人

よこはま里山研究所 **NORA**

2024 年活動報告

2024 年は、1 月 1 日に最大震度 7 の能登半島地震が、2 日には羽田空港で衝突事故が発生し、不穏なスタートでした。また、昨年が続く猛暑で、6～8 月の日本の平均気温は 1898 年の統計開始以降の最高値を示したようです。世界に目を向ければ、ロシアのウクライナ侵攻も、イスラエルのガザ侵攻も終わりが見えず、穏やかな気持ちではられません。不安な気持ちにもなりますが、だからこそ、「里山とかかわる暮らし」をもとに地に足をつけて生き、支えあうコミュニティづくりを進めていきましょう。



「もったいないから竹細工」

ムラ

4 月 23～25 日の日程で、大分県別府市にて竹細工研修を行いました。現地では大分県立竹工芸訓練センター、竹細工伝統産業会館、竹細工工房オンセ、永井竹材店などを見学し、竹細工に関するさまざまな取り組みや課題点など伝統文化地域ならではの話をうかがい、今後の竹細工事業へのつながりを作ることができました。



NORAの山仕事

ヤマ

(支援: よこはま夢ファンド)

定例メンバーも定着し、今期もステップアップ研修の4期を実施することができました。「次世代へつなぐ森づくり」を着実に続けています。

竹を活かす山仕事

ヤマ

毎月第3日曜日に中井町まで出向き、竹林整備を継続しています。「もったいないから竹細工」と連携し、里山資源を循環させています。横浜市内で整備が必要な真竹林を探しています。竹林の管理にお困りの方がいらっしゃれば、ぜひご紹介ください。



よこはま里山レンジャーズ

(連携: 認定NPO法人自然環境復元協会)

ヤマ

よこはま里山レンジャーズでは、里山保全活動を始めてみたいボランティアと横浜市内の緑地で保全活動をしている団体との橋渡しを行っています。里山保全活動への参加機会を創出することで、人と里山の関わりを探っています。今年も多くのボランティアの方にご参加いただきました。



まちの近くで里山シゴトづくり

(共催: モリダス)

ヤマ

ネイチャーポジティブをテーマに、コミュニケーションの取り方と生態系を豊かにする草刈りの実践講座を開催しました。また、里山保全・森林づくりの担い手や人材育成をテーマにしたオンラインシンポジウムには、100名を超える参加申込みがありました。



森と畑と音楽と

ノラ

今年は拠点となる場所ができ、交流イベントが増えました。作物栽培を通してたくさんの方とつながることができました。薪作りや子どもたちの木工など、木を利用した活動も増えています。



『食べもの通信』読者会

ムラ

暮らしを見直すヒントは里山にある。NORAの月刊『食べもの通信』読者会は6年目を迎えます。はまどまでのリアルとリモートでやっています。身のまわりも食べものも、厳しい暮らしにさいなまれる昨今、読者会は生きる知恵・助け合いになることも。ぜひ、お試し参加を!



はぶすぱラボ

ムラ

2024年のテーマは「色を食べる」。食材が持つ色の特性を知り、食事には色彩を取り入れた「カラーフード」という考え方をういて、ハーブ・スパイス料理に加えて、色が心や体に与える影響について一緒に研究しました。



はまどまで土間仕事

ムラ

今年は3月に川口粧さんをお招きして春の味噌づくり。恒例の下曾我の柏木さんの梅干しづくりは梅の不作により開催はありませんでした。開催回数は少ないですが、大切にしていきたい土間仕事です。



はまどま手習い塾

ムラ

今期は開催はありませんでしたが、暮らしにすぐに活かすことができ、日々の生活を心地よくするための技を学ぶ時間として、今後も継続していきます。



はまどま諸々

ムラ

「はまどま」は街なかの里山への入口、人の輪を築く場としてさまざまなイベント・講座を行っています。10月には地元の町内会のハロウィンイベントに、スタンプラリーのポイントの一つとして参加。近隣のおおぜいの人たちに「はまどま」を知ってもらう機会となりました。



野菜市でつなぐ農と人

ムラ

昨今の米不足や農産・水産物の高騰は何年も前から予測できたことです。だからこそ、19年間続けてきたNORA野菜市でした。担当が病を得て終了しましたが、いよいよ里山と農・暮らしをつなげる時代です。子どもたちの未来のために、できることを!



紹介動画

インタビュー動画